

広島市植物公園 見どころ案内

フクジュソウ(福寿草) (キンポウゲ科)

「春の妖精」が見頃です。フクジュソウ1種に分類していたものを最近では地域毎に4種類に分けることが一般的です。有毒で新芽がフキノトウに似ているため、中毒事故が度々起こっています。

ウメ ‘白加賀’ (バラ科)

遅咲きの白花品種で現在見頃を迎えています。実ウメとして一般によく栽培される品種でもあります。

ガステリア (ススキノキ科)

‘群牛’、‘子宝’など様々な品種が、名前の由来である胃(ギリシア語 gaster)のような形の花を咲かせています。

変わり葉ゼラニウム

(フウロソウ科)
(公社)日本植物園協会
のナショナルコレクションに
認定された変わり葉ゼラニ
ウム品種群を展示していま
す。展示温室のゼラニウム
展と併せてぜひご覧ください。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)
本来のクリスマスローズは
ヘレボルス・ニゲルを指して
いますが、日本ではヘレボ
ルス属を一括りにしてこう
呼んでいます。

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)
枝が必ず三つに分かれる
(三叉)ことから名付けら
れました。小さな黄色い花
を下向きに咲かせていま
す。香りのよい花木とし
ても知られ、開花時には
周囲に香りが漂います。

肥後椿各種 (ツバキ科)

江戸時代に熊本で作ら
れた一重で大ぶりの椿で
ある肥後椿のなかまが見
頃です。

ハルサザンカ ‘笑顔’ (ツバキ科)

ハルサザンカはサザンカ
とツバキの雑種に由来す
る園芸品種の総称で、‘
笑顔’は、濃桃色、八重
の大輪品種です。

ハナナ (アブラナ科)

「菜の花」の名で知ら
れる、早春の定番の一年
草です。小規模ながら群
植された菜の花畑をご覧
いただけます。

トサミズキ

サンシュユ (ミズキ科)

中国原産の植物で、早
春に枝の先に小さな黄色
い花をたくさん咲かせ
ることから、別名ハルコ
ガネバナ(春黄金花)と
も呼ばれます。

ゲンカイツツジ (ツツジ科)

ツツジの中でも特に早
咲きの種類で早春に開
花します。葉が展開する
前に桃紫色の花を咲か
せるためよく目立ちま
す。

